

根管清掃剤

キャナルクリーナー 歯科用液 10%

CANAL CLEANER

粘性のある次亜塩素酸ナトリウム製剤を実現

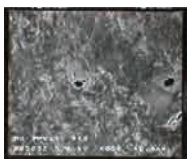


特長

- ◇粘性を有しているので搬送が容易
- ◇患部からの薬剤流出が軽減
- ◇潤滑作用の増大
- ◇上顎歯根管への操作性が向上
- ◇クリアな状況での拡大形成が可能

- 1. ペーストに汚れが包含される。
- 2. 根尖孔付近に汚れが沈みにくい

有効成分	1mL 中次亜塩素酸ナトリウム 100mg
効能・効果	齶窩及び根管の清掃 消毒及び内容物の溶解
包装	30mL



未処理群 SEM 像

液体タイプと同様の有機質溶解能

有機質溶解能試験により、1分で95%以上のコラーゲンを溶解除去することが確認されています。(社内資料)



5min. 処理群

抜去歯を用いた実験により、5分以内で根管内の有機質を完全に溶解除去することが確認されています。(社内資料)

(日歯保誌 39 (6) : 1487~1495、1996)

力を加えると粘性が低下し、流動性が増加。チキソトロピー性を有するペーストです。

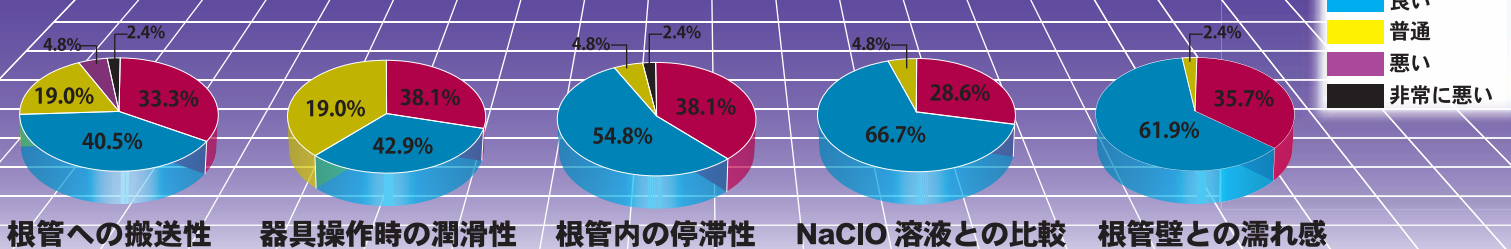


各種の細菌を1分以内に殺菌します。

被験菌株 : *Streptococcus mutans*, *Streptococcus sobrinus*, *Escherichia coli*, *Pseudomonas aeruginosa*, *Staphylococcus aureus*, *Aspergillus niger*, *Candida albicans*, *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*, *Fusobacterium nucleatum*, *Bacteroides melaninogenicus*, *Porphyromonas gingivalis*, (社内資料)

使用感に関する研究 (日歯保誌 39 (1) : 10~15、1996)

臨床経験が3年以上の歯科医師42名を対象とする調査の結果40名の先生が優れた操作性を認めております。



キャナルクリーナー歯科用液 10%

2016年11月改訂の添付文書の記載に基づき作成。

薬効分類名	根管清掃剤
日本標準商品分類番号	87273
商品名	キャナルクリーナー歯科用液 10%
一般名	次亜塩素酸ナトリウム
剤形	歯科用液剤
規制区分	該当しない
承認番号	22100AMX00928000
貯法	気密容器、冷暗所保存
薬価基準収載年月	2009年9月
販売開始年月	2002年9月
組成・性状	1. 組成 〈有効成分〉 1 mL中に次亜塩素酸ナトリウム 100mgを含有する。 〈添加物〉 ベントナイト、水酸化ナトリウム、無水リン酸一水素ナトリウム 2. 製剤の性状 本品は淡黄緑色の液剤で、塩素のおいがある。 本品は光によって徐々に変化する。
効能・効果	齶窩及び根管の清掃・消毒及び内容物の溶解
用法・用量	次亜塩素酸ナトリウムとして、通常 0.05～0.2mLを用いる。 貼付の場合：根管拡大後、本剤を小綿球に十分浸し根管内に貼付する。 洗滌の場合：根管口を拡大後、本剤を注入しながらリーマー及びファイルで根端孔部まで拡大し、ついで本剤を根管内に満たし、探針で洗滌する。 〈用法・用量に関連する使用上の注意〉 (1) 注入器を用いて洗浄する場合、急激な圧力がかかると気腫を起こすことがあるので注意すること。 (2) 本剤使用後は根管内を脱脂綿で清拭すること。 (3) 中和剤としてオキシドールを用いる場合には、必ずオキシドールをあとから使用すること。
使用上の注意	(1) 腐食性があるので、口腔粘膜や皮膚等に付着させたり、眼に入らないよう十分に注意すること。 (2) 口腔粘膜等の軟組織、手指及び衣服等に付着した場合には、オキシドールを浸した脱脂綿で清拭し、十分に水洗すること。万一眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄する等の適切な処置を行うこと。 (3) 歯科用にのみ使用すること。

薬効薬理	1. 作用機序 ¹⁾ 次亜塩素酸ナトリウム液は、次亜塩素酸の酸化力を利用して、緩慢であるが持続性の局所殺菌・消毒、制臭作用を有し、齶窩及び根管内の清掃・消毒に適する。 2. 生物学的同等性試験 ²⁾ 本剤と標準製剤について、コラーゲン Type 1 を使用した有機質溶解能試験、好気性菌、嫌気性菌及び真菌を使用した殺菌効力試験、及びヒト抜去歯を用いた根管の清掃及び内容物の溶解能試験を行った結果、両剤共に良好な結果を示し両剤間に有意な差は認められず、両剤の生物学的同等性が確認された。
有効成分に関する理化学的知見	一般名：次亜塩素酸ナトリウム (Sodium Hypochlorite) 分子式：NaClO 分子量：74.44 性状：微淡黄緑色澄明の液で、わずかに塩素のおいがある。また、光によって徐々に変化する。
取扱上の注意	○長く静置しておくこと懸濁剤が沈殿している場合があるので、よく振ってから使用すること。 ・外キャップがしっかりと閉まっていることを確認してから振ること。 ○容器の内圧が高くなっている場合があるので、ふたを開けるときの注意して開けること。 ○本剤が出にくい場合は無理に押さないこと。目詰まりを起こしている場合がある。 ○目詰まりを起こしている場合は以下の点に注意すること。 1) 詰まった状態で容器を押さないこと。 ・本剤が飛び散ることがある。 2) 目詰まりを取り除いてから使用すること。 ○容器を強い圧力で押さないこと。 ○容器を上に向けた状態で押さないこと。 ○本剤は光によって徐々に変化する。 ○安定性試験 最終包装製品を用いた長期保存試験 (15℃±2℃、1年間) の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、本剤は冷所保存下の市場流通下において1年間安定であることが確認された。 ³⁾
包装	30 mL
主要文献及び主要文献請求先	1. 主要文献 主要文献に記載の社内資料につきましては下記にご請求ください。 1) 第十七改正日本薬局方解説書 (広川書店) : C437～438 2) 株式会社ビーブランド・メディコーデンタル社内資料 (生物学的同等性試験) 3) 株式会社ビーブランド・メディコーデンタル社内資料 (安定性試験) 2. 文献請求先 株式会社ビーブランド・メディコーデンタル 〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路5丁目20番19号 電話 (06)6370-4182 (代) FAX(06)6370-4184 (代)

■お取引先材料店

■製造販売元



(株)ビーブランド・メディコーデンタル

大阪営業所：大阪市東淀川区西淡路5-20-19 | 東京営業所：東京都千代田区神田錦町1-14
TEL:06-6370-4182 FAX:06-6370-4184 | TEL:03-3295-6926 FAX:03-3295-6927

<http://www.bee.co.jp/>

2017年6月作成